

# 【統計・情報論】伊藤 伸介 ゼミ



演習テーマ：日本の社会経済に関する統計データ分析

## <活動内容>

近年、「ビックデータ」や「パーソナルデータ」といった用語を新聞記事等で目にする機会が増えてきました。こういったデータを扱う上で、統計データ分析の知識は役に立つと思われることから、統計学やデータ分析に対する社会的な関心も高まっています。本ゼミでは、社会経済的な分析能力と統計データの解析技術を身に付けることを目指します。

## <2年次>

最初にテキストの輪読とプレゼンテーションを行い、文献の整理の仕方とプレゼンテーション技術を学んだ上で、Excelを用いた統計データの加工と分析の基礎を学習します。つぎに、テーマにしたがってグループ別による調査研究を行います。

## <3年次>

基本文献の輪読を行った上で、SPSSといった統計解析用ソフトウェアも活用しながら、グループごとに主として(アンケート調査等によって得られた)調査個票データを用いた実証分析を行います。つぎに、グループ単位での調査研究を踏まえ、各自が設定したテーマに基づいて文献資料やデータの収集・整理、および政府統計のデータ(マイクロデータを含む)や調査個票データ等のデータ分析を行います。さらに、各自のテーマについてのプレゼンテーションを行うだけで

なく、分析結果にもとづいてゼミ論文を作成します。

#### <4 年次>

3 年次に作成したゼミ論文のさらなる改良を進め、ゼミ活動の総まとめとしての演習論文を完成させます。

#### <ゼミ紹介>

主に政府統計データや調査個票データを用いながら、日本の社会経済を対象にした統計データ分析について学習するゼミです。ゼミでは、プレゼンテーションや統計データ分析を行うだけでなく、グループごとにアンケート調査やインタビュー調査といった実地調査を含む調査研究を進めていきます(2016 年度については、中央大学周辺の地域活性化、中央大学の広報・メディア活動、および中央大学の都心回帰の3つのテーマについて、グループ別に調査研究を行いました。また、2017 年度においては、地域活性化班、観光班と広告班の3つのグループに分かれ、それぞれ高幡不動産エリアにおける活性化、北関東地域における観光政策、大学に関する広告活動の効果という調査研究を行っています)。これらの調査研究の成果については、経済学部プレゼンテーション大会等で研究発表を行う予定です。なお、2016 年度においては、2017 年 2 月に当時の学部 3 年のゼミ生が、本学の OB(学員)の方々に対して、「中央大学の都心回帰」と「中央大学のブランド力向上計画」のテーマで研究の成果を発表しました。また、2017 年 2 月に、日野市役所の職員の方、日野市観光協会や高幡不動産商店会の方々を対象にプレゼンテーションを行い、高幡不動産地域の活性化に関する提案を行いました。さらに、広報・メディア班のゼミ生が 2016 年度における調査研究の成果として作成したポスターは、本学経済学部の HP のトップページのバナーに採用されています。2017 年度においても、2017 年 10 月に、観光班に所属する学部 3 年のゼミ生が、茨城県庁主催の「発掘！ ディープいば旅コンテスト2017」に参加し、偕楽園を活用したツアープランの提案を行いました。演習を通じて、ゼミ生のディスカッションの技術やコミュニケーション力、さらには統計データないしは調査個票データの収集・処理・加工に関するスキルの向上を目指すだけでなく、ゼミ生ひとり 1 人の個性に合わせた細やかな指導をしていきたいと考えています。なお、必要に応じて就職活動等に関する個人面談を行うことも計画しています。

少なくとも年に 1 回開催するゼミ合宿は、ゼミ生同士の親睦を深める上で貴重な機会となっています。また、ゼミ生との飲み会や食事会を年に数回行っており、社会人の方を交えたゼミの飲み会も実施する予定です。さらに、総務省統計局といった統計作成部局の訪問や工場見学等を行うことも計画しています(2017 年度のゼミでは、総務省統計局と日本銀行を見学しました)。こうしたゼミ活動を通じて、学生生活をより一層充実したものにしていただければと考えています。